令和７年３月改訂

キャンプファイヤーシナリオ例（迎え火の式、送り火の式）

～迎え火の式～

内容	司会の動き	参加者の動き	指導者の動き
入場		１列で静かに入場する。	
開会の言葉	「みなさん、こんばんは。明るかった空も、夜のおとずれとともに、今ではすっかり遠く西の空に沈んでしまいました。自然の家での研修も最後の夜を迎えました。これまでの活動を振り返り、新たな明日への活力を燃やし、ともに、私たちの友情の輪を広げるため、ただいまよりキャンプファイヤーを行います」		
火の神入場の合図	「それでは、これから迎え火の式を行います」 「“遠き山に日は落ちて”を歌いながら、火を迎え入れましょう」	遠き山に日落ちてを歌う	CD を流す
火の神入場		遠き山に日落ちてを歌う	トーチに火をつける トーチを持って入場する
営火に捧げる言葉	「それでは、〇〇さんは、参加者を代表して営火にささげる言葉を述べてください」	営火に捧げる言葉を述べる	
分火の合図	「それでは、火を受け取る〇〇さん、〇〇さん、〇〇さんは前へお進みください」	営火台の前へ進む	
分火	「火の神は参加者へ呼びかけながら火を分けてください」	火の神から火を受け取り、「〇〇の火をいただきました。～～～～」と一言述べる。	「汝に〇〇の火を与える」などと言いながら、火を分ける
迎え火の言葉	「それでは、火の神より迎え火の言葉をいただきます」		迎え火の言葉を述べる
点火	「ただいまの火の神の言葉、先ほどの〇〇さんの営火にさ	火の神が点火の宣言をしたら、点火する。	司会から促されたら、点火を宣言す

	さげる言葉、そして○○さん、○○さん、○○さんの誓いの言葉をもう一度思い出してください。これらの言葉を参加者みなさんの誓いの言葉としてトーチにたくし、中央のファイヤーブロックに点火したいと思います」 「火の神は点火の宣言をお願いします」	点火が終わったら円に戻る。	る。
営火に捧げる歌	「今、中央のファイヤーブロックに火がともりました。こよいが楽しいキャンプファイヤーになりますように”燃えろよ燃えろ”を元気に歌いましょう」	燃えろよ燃えろを歌う	CD を流す 火の神は歌っている間に退場する トーチの火を消す
締め	「さあ、みなさん！ 炎も高く燃え上がりました。今宵ひととき、歌ったり、踊ったり、ゲームをしたりして大いに楽しみましょう」		

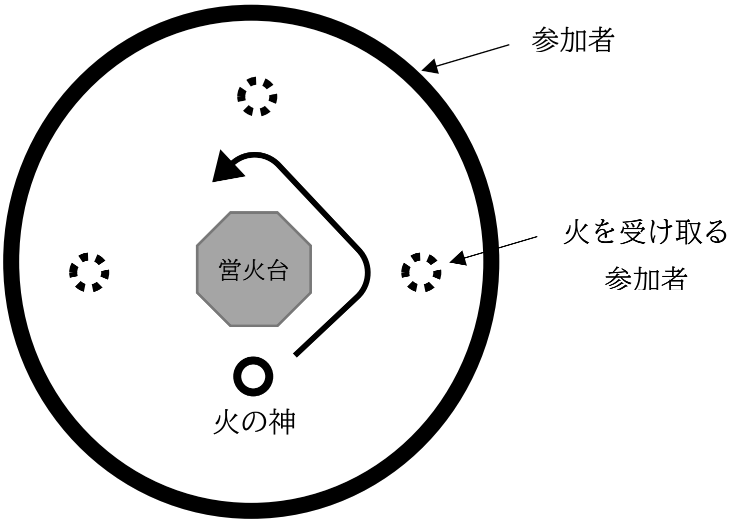

図　分火時の隊形

令和７年３月改訂

～送り火の式～

内容	司会の動き	参加者の動き	指導者の動き
開会の言葉	「これから送り火の式を始めます」		
採火の合図	「〇〇さんはトーチを持って前へお進みください」	営火台の前へ進む	
採火	「それでは、採火してください」	採火する	
送り火の言葉	「〇〇さんは送り火の言葉を述べてください」	送り火の言葉を述べる	
送り火に捧げる歌	「先ほど点火された炎も、今では夜のしじまの中に赤いおき火を残すだけとなり、大いに楽しんだキャンプファイヤーもいよいよ終わりに近づいてきました。今日の一日、私たちにとって楽しく実り多い思い出の１ページを残してくれました。 最後に“今日の日はさようなら”　を歌って、キャンプファイヤーを終わりたいと思います」	今日の日はさようならを歌う	CD を流す
閉会の言葉	「これで、キャンプファイヤーを終わります」		
退場	「それでは、〇〇さんを先頭に退場します」	１列で退場する	今日の日はさようならを流す 出口でトーチを消火する。